



発行所
いわき市平字桜町 5
福島県立磐城桜が丘高等学校
同 窓 会

発行 者
玉 手 匡 子

印刷 所
八 幡 印 刷 株 式 有 限 公 司

題 字
石川 美子(高女33回卒)



母校創立110周年記念特集号 発行に寄せて

同窓会長 玉手 匡子

本年度、母校創立百十周年にあたり、それを記念して会報を発行いたしますが、第十九号という初々しい号数です。

同窓会活動と編集委員会との関係を簡単に記しますと今年度の各担当は総会(高校二十二回)、研修旅行(高校二十三回)、会報発行(高校二十四回)となっております。来年度は小名浜支部会(小桜会)が当番です。支部会が総会と研修旅行のみの担当、会報の発行はしません。そのため、会報は二年に一度の発行になります。二十七年は高校二十五回、高校二十七回の評議員を中心とした三件を担当し、二十八年度は勿来支部会が担当です。

会報が産声を上げたのは昭和五十(一九七五)年です。当時の山崎サト様(第三代会長)の下、千葉とし(高女十六回)副会長の発案でした。縁あって、創刊号から第六号まで編集に携わったことを懐かしく思い出します。

会長職に就いて四期七年目を迎え、第十六号(高校十四回)、十七号(高校十八回)、第十八号(高校二十一回)と今回は高校二十四回の会員と編集を一緒しました。

それぞれの業務が回って行く頃には大体還暦を迎えた時期ですが、六十代といっても現役でバリバリ活躍していますので、時間的余裕はなく編集担当の方々を探すのに毎回苦労いたします。しかし、幸いにそれなりの人数が集まり、しかも俄か編集委員にも拘わらず、素晴らしい会報を完成させてきました。これも各人の努力は当然のことながら校内理事である先生方のお力添えは大きいです。

年度内に作成し、最初に三月一日の卒業式の日配布するというのが進められるために、第一回の編集委員会は暑い七月に開催され、延べ五回ぐらい委員会がもたれます。卒業以来、初めて母校を訪れる方や改めてお互い同期だったことを知り、急に学生時代にタイムスリップし、「警陽の学び舎」の伝統を有難く感じるようです。

今回は創立百十周年記念号という節目を飾る立派な会報の誕生を見ることができました。この会報を「維持会費」を活用して多くの会員にお届けできればと思っております。

汗と知恵の結晶の本会報が同窓生の絆をさらに強めることを希うばかりです。

平成二十六年四月二十五日付で国から文書による通知がありました。「桜丘会館」を文化財登録原簿に登録した(第〇七〇一四八号)との内容です。「この建造物は貴重な国民的財産です。」「プロの銘板にはこう書かれています。国に対して桜丘会館の価値を伝えることに関係された方々のご尽力に感謝いたします。」

桜丘会館はさびと勘定しても、七十年ほどあの場所にあっても、磐城高女、磐城女子、磐城桜が丘の時代に立ち

会ってきています。本校のシンボルの一つであるといえるでしょう。かの震災の折に、近くにお住いの卒業生は、桜丘会館は崩れ落ちていやしなやか心配で、自分の家の片づけも放り出して、祈るような気持ちで確かに来たそうです。居ても立ってもいられない、あの気持ちは、建物の中は見るとはできないけれど、見た目では大きな異状がなさそうだ



桜の木の下で

学校長 渡邊 望

とわかると安心して涙がこぼれそうになったと聞いています。思い入れはもちろん個人によって対象や深さが違います。けれども、長い人生のなかでこの若い時期に、過ぎてしまった時間は同じ長さであっても、それぞれ濃密な時間が今も昔もこの学校には流れているのだらうと思えました。

七月二日には創立百十周年

記念式典を芸術文化交流館アリオスで行いました。五日仮装行列、六日桜丘祭一般公開、百十年目のお祝いを兼ねて生徒も職員も力いっぱい取り組みました。平成二十六年度は学校にとつて創立百十周年と区切りのよい年でしたが、来年の百一十一年でも、その次の百一十二年でも学校の中心はそれほど変わりません。これまでのように濃い時間が流れていくのだと思います。

伝統校にはたくさんの方々の智慧が残されています。桜が丘を後にする人たちに私は希望します。それぞれの心の中にその智慧を拾い集めて自分の学校を建ててください。そして、側に桜の木を二本植えることを忘れないように。学校はあなたの人間性を磨き、あなたたちの仲間を励まします。桜の木はそこを学校にふさわしい場所に変え、時代の移り変わりを教え、あなたの成長を百年見守っていてくれるのです。

総会報告

高校 22 回 諸橋 良枝

平成二十六年度桜丘会総会は、四月二十九日、グランパークホテルパネックスいわきで二五名が出席して開催されました。玉手会長挨拶で開会、当番高校22回生より議長団(野地みゆき、木村眞理、松崎順子)が選出され議事が進められました。議事の最後に新役員の見聞があり、協議の結果満場一致で次の方々が新役員に決まりました。



- 会長 玉手 匡子(高校13)
- 副会長 大平 妙子(高校20)
- 会計 菅波八重子(高校20)
- 監査 勝田 裕子(高校19)
- 理事 志賀 邦子(高校19)
- 第二部では渡邊望校長先生のご挨拶、新任先生方の紹介のあと、岡田峰子さんの進行で、懇親会が始まり、アトラクションでは22回生の川崎葉子さんが黒田官兵衛にちなみ「黒田節」を力強く踊ってくださいました。来賓代表として恩師石河強先生のご挨拶に続き、恩師久家孝夫先生から乾杯のご発声をいただき、来賓、各支部長様のご紹介、ご挨拶がありました。
- また、各支部の方々に鈴木英子さん(高校16回)から自作の桜のDVDをプレゼント致しました。来年度当番の小名浜支部へ引継のバトンを渡し、小野双葉さん(高校12回)が当番の抱負をお話ししました。最後に全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。
- 校外理事紹介
理事/薄葉フミ子(15回)・長谷川トシ子(17回)・京極三智子(18回)・新妻彰子(19回)・加藤昌子(26回)
- 校内理事紹介
理事/吉田真弓(31回)・会計/草野香織(39回)・佐藤裕子(44回) 理事/高橋真由美(37回)・塩井綾枝(38回)・志賀寿枝(46回)・黒澤朋美(46回)・江川育実(52回)・片寄景一郎(59回)・渡邊孝紘(61回)・高木美枝(29回)

平成25年度研修旅行「社会科見学」

鈴木ミチ子

平方部担当の研修旅行は、六月五日、国会議事堂と日銀貨幣博物館へ行きました。

参加者一〇〇名を超え、バス三台になりました。地元の国会議員の方々に温かく迎えられ、参議院予算委員会室で、総理大臣や各大臣の座席に座り説明を聞きました。お楽しみのはやしは、赤坂のホテルでの、ランチビュッフェ。日銀貨幣博物館で貨幣の歴史を学び、車窓より、新装なった東京駅赤レンガを眺めながら、交流を深め、力強いネットワークの絆を強めました。大所帯の中、何事もなく、無事過ごせた事に、感謝・安堵の一日でした。



平成26年度研修旅行

園部早由里

二十六年度の研修旅行は、六月四日、二十三回卒業生の企画担当で行なわれました。お天気にも恵まれ、始めに訪れた上野公園は、初夏の緑がまぶしい程でした。東京芸術大学の美術館特別企画「法隆寺展・折りこたたち」では、その題の通り数々の仏像とそれに込めたいにしえ人の思いに触れることができました。震災後の私たちに特別な意味深いことでした。

昼食は、上野公園にほど近い水月ホテル鶴外荘でお弁当を頂きました。このホテルは若き日の森鷗外がすごした邸宅の敷地に建てられています。現在邸宅の一部はレストランとして使用されていて、時間によって見学が可能です。私たちも中を見せて頂きましたが、もう一度鷗外の作品を読んでみたいと思われ



創立百十周年記念行事

記念
講演会



記念
式典



第42回
桜丘祭



桜故知新 ～百十年の礎と未来への探求～

- 百十周年記念事業・行事
- 環境整備事業 (H 26 ・ 5)
 - グラウンド照明増設電源工事 (H 26 ・ 6)
 - 記念式典 (H 26 ・ 7)
 - 記念講演
講師 水越美枝子、猪狩暢子
『本当の自分になるために』
① 「設計」という仕事
② 「編集」という仕事 (H 26 ・ 7)
 - 桜丘祭 文化祭「桜故知新」 (H 26 ・ 7)
 - 桜丘会館補修工事 (H 26 ・ 10)
 - 百十周年記念誌編纂 (H 26 ・ 12)



グラウンド照明増設電源工事完成



桜丘会館が「登録有形文化財」となり、それに伴い補修工事完成

支部・方部だより

津支部

同窓会の輪を広げよう

支部長 遠山美沙子 (高校 8 回)

津支部は、平成二十五年九月二十八日に老舗料亭・萬花楼にて第三十一回津警女桜丘同窓会を開催いたしました。この会は、以前は二年に一度の開催でしたが、平成二十一年からは毎年開かれていきます。学校や地域の行事などが重なってしまい、八名の参加となりまして、お互いの近況を報告し合ったり、それぞれの警女時代の思い出を語り合ったりと、和やかな時間を過ごすことができました。最後に、故郷いわきに思いを



これからも、会津に暮らす同窓生の輪が、ますます大きく強くなって行くことを願っています。
(高校 34 回 遠藤亮子記)

郡山支部

郡山支部だより

支部長 平田 良子 (高校 16 回)

郡山支部は、三年に一度の総会(懇親会)を開催しております。前回の十六回は、平成二十四年に「郡山ビューホテルアネックス」で開きました。

参加者が少なかったのは残念ですが、青春時代を同じ校舎で学んだ者同志、あれこれと話が弾み、楽しい会となりました。



次回の十七回は来年、平成二十七年に開催予定です。郡山近辺にお

福島支部

感動は人生のアクセント

支部長 加藤 春江 (高校 28 回)

福島桜丘会は、六月一日に第五十二回総会・懇親会を開催しました。第二十五代校長・石河強先生をお招きし、大盛会のうちに終えることができました。

石河先生には「感動は人生のアクセント」という題で講演いただき、ボランティアで日本語教師をなさっておられたポーランドでの興味深い



お話をお聞きし、楽しいひと時を過ごしました。一昨年には、念願の母校訪問を実現できました。

仙台支部

嬉しい出来事

支部長 加藤 翠子 (高校 17 回)

今年度の支部総会は、本日より遠路玉手匡子会長にお越しいただき、六月十三日国際ホテルに於て、二十五名の参加で開



催されました。三浦信子さん(高女二十八年卒)の乾杯で

浪江支部

新しい世界へ

支部長 柏本 洋子 (高校 26 回)

復興という言葉の影のなくなった私達浪江支部は、全員が双葉町と浪江町の住民でした。そのため、現在も故郷へ戻ることができない状況です。戻れないというより、もう移住先を見出し、新しい世界への一歩を踏み出しているのです。それぞれの方が迷

いながら自らの選択を断念しているのです。故郷とはそこに思い出の人々とのぬくもりや色や音があつてこそその郷へ戻ることができない状況です。戻れない存在なのです。しかしそんな時、移住先、避難先で同窓生との出会いや暖かな交流が花咲いた時、とても

嬉しく思います。そして誰もが感謝しております。又見えない糸に引きよせられるような新しい出会いを一つでも多く見つけたいと願っております。震災で亡くなった方やその後関連死で亡くなった方を思う時、命の尊さをかみしめて、前進していかねばと痛感し、本当の復興を目指しております。

ました。懐かしい母校を案内していただきまして、感謝しております。

東海支部

桜丘会館の図書カードをつくりました。

支部長 志賀恵久子 (高校 9 回)

創立百周年を迎えられた母校の益々のご発展を心より祈念しております。
(高校 29 回 渡辺郁子記)

東京支部

感動は人生のアクセント

支部長 坂本 瑞井 (高校 14 回)

桜丘会東京支部は、十数年来、上野の精養軒で開催して参りました。今年度、第五十九回の総会は約百五十名の参加があり若い会員の参加が増えたことは、喜ばしい限りです。

母校の教員・校長をなさった石河強先生による「感動は人生のアクセント」という題での講話がありました。先生は古稀を迎えた二年後に国際交流の架け橋として、後の十年の人生を考えて、日本語教師としてポーランド、スロヴァキア行きを実現されました。社会主義国の実情などを紹介し、新しいことに挑戦するには、気力・体力の持ちよ



第59回 桜丘会 東京支部 総会

うで実現できることなどを巧みな話術で披露され、同窓生を迎えられた赤津彰子さんがいわき市から出席されて、仲間と「青い山脈」の大合唱をなさったことです。来年度の総会は五月第二日曜日、精養軒を予定しております。

北茨城・高萩支部

感謝の心

支部長 大平 育子 (高校 9 回)

本年度の総会・研修会は風光明媚な大津の観音堂で実施しました。本校から頂いたラップ



に移動し、「岡倉天心」の生

平方部

春と秋の行事

会長 高橋 昌江 (高校 11 回)

発会して三年目に入りました。会員数三〇〇余名、年間行事も春と秋の二回開催しております。四月の母校訪問は丁度桜の見ごろに散策、震災後修理された桜丘会館の中を見ることが出来、みんな懐かしい思いに浸ることができました。



秋は研修旅行で星野富弘美術館へ出かけます。

小名浜方部

総会開催に向けて

会長 小野 双葉 (高校 12 回)

平成二十七年桜丘会総会は、小名浜方部会が担当します。大震災により、担当を免除されて以来四年目になります。前回担当時に準備した経験を活かし、参加者の皆様にご満足の頂けるおもてなができるものと確信しております。会員一同、多数のご参加を頂きますよう、念じております。

四倉方部

活性化を 目指して

会長 高倉ケイ子 (高校 11 回)

四倉方部会は総会を二年毎から三年毎に変更し、会費は千円に据え置きとしました。一年目は総会、二年目は研修旅行、三年目は会報発行と事業が計画されております。会員減少、高齢化、会運営費のきびしさなど悩みもありますが、智恵と能力と笑顔を集めて会を継いで行きたいと思っております。

母校このごころ

桜丘祭の思い出

平成二十六年七月五日、六日の二日間に渡り第四十二回桜丘祭が開催されました。

桜故知新

前期生徒会長 椎名 紬

第四十二回の桜丘祭もたくさんのお支援助のおかげで無事開催することができました。今回は創立百周年を迎えたこともあり、桜丘祭前から

回より大いに盛り上がりまし

た。生徒会役員、全校生徒の盛り上がり市内に広がっていったのかもしれないが、公開文化祭の来客数は前回は大きく上回ったと聞きました。

桜丘祭当日も皆、笑顔でしたが、準備期間の表情の方が私は印象に残っています。何か一つを作り上げる為に、クラスが一丸となって取り組む真剣な顔や出来上がった時の

全国大会出場部・外局より

陸上競技部

三年 佐々木海帆

私は陸上競技部に入部し素晴らしい仲間に出会いました。苦しい時、挫折しそうな時は皆で励まし合い、また喜びも共にわかち合ってきました。仲間の支えがあったからこそ私は全国の舞台に立つことができました。本当にありがとうございました。最後に、澤田先生、これまでお導きいただきありがとうございました。

三年 西田愛咲美

先生、家族、仲間、たくさんの方に支えられたおかげで全国大会に出場することができました。つらい時苦しい時、共に支え合い、励まし合いながら過ごした日々は私の一生の宝物です。大好きな桜が丘陸上部で大好きな仲間と大好きな陸上ができて本当に幸せ

放送局

三年 助川 真衣



私たちは放送局は、日々、の努力に加え生徒の皆さんや顧問の先生をはじめとする先生方、そして地域の方々のご協力のおかげで、今まで目標としてきたNHK杯、総合文化祭の二つの全国大会に出場することができました。どちらの大会でも入賞することができ、大変誇りに感じています。

桜が丘放送局は、先輩方が残した素晴らしい伝統を繋ぎ、そして新しい伝統を創り上げていきたいと思えます。

嬉しい顔。当日の思い出よりも、もしかしたらそれまでの過程の方が素敵な思い出になった生徒もいるかもしれないと思う程、素敵な顔をたくさん見た気がします。

桜丘祭の思い出

桜丘祭実行委員長 村上祥子

私が主に担当していた第一体育館のステージ発表も最後まで観客を魅了させてくれました。桜が丘の生徒の底力を見た気がしました。

科学部

三年 高倉 優花

日々の地道な研究が実を結び、私達科学部は地学部門で全国大会へ出場することができました。鳴き砂に関して調査する中で考察通りにいかないことも多くありました。その度に皆で話し合い、実験を重ねて発表内容を仕上げていったことは良い思い出です。

全国大会では興味深い研究が数多くあり、また仲間と過ごした時間は最高に楽しかったです。科学部をこれまで支えて下さった皆様、

今までありがとうございました。桜が丘放送局は、先輩方が残した素晴らしい伝統を繋ぎ、そして新しい伝統を創り上げていきたいと思えます。

箏曲部

二年 鈴木絵実理



私達箏曲部は、いわき総合

運んでくださった皆様、誠にありがとうございました。今年、一万人を超える過去最多の来場者数を記録し、大変嬉しく思っています。

科学部

高校琴部と「福島県合同」として茨城県で行われた全国大会に出場させていただきました。会場内では、たくさんの方々に声をかけ、応援をいただきました。ありがとうございました。

私に担当していた第一体育館のステージ発表も最後まで観客を魅了させてくれました。桜が丘の生徒の底力を見た気がしました。



と全国各地のバスが停まっています。全国大会の大きさを改めて実感しました。会場内では、たくさんの方々に声をかけ、応援をいただきました。ありがとうございました。

これまでに練習の成果を全て出し切ることができ、今まで一番の演奏をすることができました。ここまでできたのも先生方、支えてくださった方々のおかげです。また今回の経験をこれからに生かして、来年も全国の舞台に立ちたいです。

私達箏曲部は、いわき総合

卒業年度 (平成)	25	24	23
北関東工業大学	1	1	1
北海道教育大学	1	1	1
弘前大学	1	1	1
秋田大学	1	1	1
東北大学	1	1	1
宮城教育大学	2	1	1
山形大学	1	1	1
福島大学	1	1	1
茨城大学	1	1	1
群馬大学	1	1	1
筑波大学	1	1	1
宇都宮大学	4	3	2
千葉大学	1	1	1
埼玉大学	2	3	2
電気通信大学	1	1	1
横浜国立大学	1	1	1
新潟大学	5	1	1
信州大学	1	1	1
静岡大学	1	1	1
広島大学	1	1	1
山口大学	1	1	1
琉球大学	2	2	1
細路公立大学	2	2	1
岩手県立大学	2	2	1
秋田県立大学	2	2	4
山形県立保健医療大学	1	1	1
宮城大学	1	3	1
福島県立医科大学	1	1	1
会津大学	5	1	2
茨城県立医療大学	1	1	1
千葉県立保健医療大学	1	1	1
群馬県立女子大学	3	1	1
前橋工科大学	1	1	1
高崎経済大学	5	2	1
埼玉立大学	1	1	1
横浜国立大学	1	1	1
新潟県立大学	1	1	1
新潟県立女子大学	1	1	1
新潟県立大学	1	1	1
福井県立大学	1	1	1
石川県立大学	1	1	1
計	68	71	65

卒業年度 (平成)	25	24	23
青山学院大学	1	2	2
茨城キリスト教大学	13	10	7
いわき明星大学	19	17	28
大妻女子大学	3	9	4
学習院大学	2	1	1
神奈川大学	18	13	17
神田外語大学	1	1	4
神里大学	2	6	4
共立女子大学	2	6	3
慶應義塾大学	3	2	1
国際医療福祉大学	5	11	10
駒澤大学	15	8	8
明治大学	2	2	1
治政学舎	1	5	1
実践女子大学	3	5	2
教育女子大学	4	2	2
昭和女子大学	1	4	2
順天堂大学	3	1	1
成蹊大学	6	4	4
成城大学	1	2	3
専修大学	10	5	13
東京文化大学	8	3	4
大東文化大学	1	4	1
津田塾大学	7	17	16
津東洋学大学	3	13	18
東京女子大学	6	3	4
東京理科大学	2	3	1
東京電機大学	2	1	3
東京農業大学	3	3	3
東京理科大学	1	2	1
同志社大学	8	3	2
東洋大学	11	7	4
東洋大学	9	7	5
東洋大学	4	6	1
日本女子大学	21	8	16
文京学院大学	14	10	2
フェリス学院大学	1	5	2
法政大学	7	3	4
明治大学	4	5	4
明治大学	1	2	3
立教大学	2	1	2
立命館大学	1	1	1
立命館大学	1	1	1
計	25	31	0

進路状況について

進路指導部長 小林 俊一

平成二十五年度卒業生は震災当日に中学校を卒業した生徒たちで三年間を最も困難な状況の中で過ごした彼らはそれでも未来への希望を捨てることなく努力を続け、力強く人生の第一歩を踏み出してくれました。

震災以後の本校生の進路希望にはいくつかの共通点が見られます。一、現役志向が一段と強まったこと、二、国公立大受験者数が再び増加に転じたこと、三、医療や教育、ある

いは地域行政等、安定かつ震災からの復興を連想させる進路希望が増加したこと、四、高卒での公務員受験を目指す生徒が増加していること等です。

男女共学化以後の本校は、首都圏を中心とする私立大学への進学希望が多く、国公立大学の受験者数が徐々に減少していましたが、社会的負担の少ない国公立大学への進学希望者の増加が再び顕著になっていきます。一方で、確実に進学・就職して早く社会で貢献したいと考える生徒も増えたことから、卒業時点で自分の学力に見合った進路先を選択する傾向も強くなり、この三年間の進路決定率は九十五前後まで上がっています。こうした安全志向の高まりに対しては様々な意見があるかもしれませんが、一人一人が地域再生・復興のために自らができることを真剣に考えた上での進路選択であることは明白であり、地域社

会のリーダーとなるべき本校生の矜持が遺憾なく発揮された結果ともいえます。

具体的な進学状況は別表に掲載のとおりで、創立百周年を迎えた伝統校の名に恥じない実績を示すことができている。特に近年は国公立大学への公募推薦入試での合格者が急増し、二十五年度も推薦では県内最多となる二十六名の合格者が生まれました。これは学業が優秀であることはもちろん、人間性そのものや校内外での特別活動で高い評価を受ける生徒が多いことが表れであり、文武両道の実現を目指す本校にとっても大変喜ばしいことです。

在校生には先輩の活躍を励みとしながらも、より高い志を持って、さらに多くの生徒が難関校を目指してほしいと願っています。これからも本校が各方面で活躍されている同窓の諸先輩方の誇りであり続けられるよう、生徒・教員が一丸となって進路実現に向けて努力していく所存です。

推薦	入試	その他	計
25	1	0	26
31	0	0	31
0	0	0	0
11	0	0	11
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
25	1	0	26

編集後記

会報十九号は母校創立百周年と重なり、「創立百周年記念特集号」として発行することにいたしました。

不慣れたメンバーながら、たくさんの方々のご協力、無事お役目を果たすことができましたことに厚くお礼申し上げます。

母校のさらなる発展をお祈りいたします。(門林 栄子)

寄贈図書紹介

(同窓生の著作・受付順)

『夢を追いつづけて』 MY LIFE 永井千代子(高3)

『大丈夫、みんな楽しく生きています!』 古賀才子(高7)

『高速世界に浮かぶ匣』 田所沙知子(高55)

『原発3キロメートル圏からの脱出』 川崎葉子(高22)

『40代からの住まいるセッソ術』 水越美枝子(高30)

『竹林はるか遠く』 都竹恵子(高23)

編集委員

委員長 門林 栄子(高校24)

副委員長 坂本 洋子(高校19)

委員(高校24回) 大平 妙子(高校20)

委員(高校24回) 園部早由里(高校23)

石島 博子・志賀 悦子

柴野真知子・渡邊 浩子

校内委員

黒澤 朋美(高校46)

江川 育実(高校52)

渡邊 孝紘(高校61)